

げんのうかん

玄翁館だより



新里生涯学習センター

〒028-2101 宮古市茂市 5-2

TEL : 72 - 2019

FAX : 72 - 3600

令和 8 年 2 月発行 第 17 号

～10月から1月までに実施した講座やイベントを紹介します～

令和7年度「玄翁館まつり」開催

10月25日(土)、26日(日)の2日間開催された玄翁館まつりには、新里地区内外から約410人の方々にご来場いただきました。舞台発表では、新里地区のサークル団体、中学校、市内のサークル団体や個人の発表など昨年より4団体多い7団体での発表に、会場からは大きな拍手が送られました。

展示部門では、新里の保育所・小・中学校の作品や、個人、団体、公民館事業の作品879点の力作が展示されました。また、玄関前では、宮古アビリティセンター（あびさあべ）の出店があり、手作りの豆腐田楽やお惣菜、2階の和室では、おでんやコーヒーなどの提供もあり賑わいをみせていました。

来場者からは、「素敵な作品をたくさん見ることができ楽しかったです。」「様々な分野の舞台発表を鑑賞でき感動しました。」などの声をいただき、玄翁館開館20周年に相応しい2日間となりました。



「和布で楽しむものづくり」～土びん型の和小物～

8月30日(土)、9月6日(土)全2回に延べ14人が参加し、講師の田代菊子さんご指導の下、土びん型の和小物を制作しました。1日目は同じ形の布を8枚縫い合わせ綿を入れ土びんの形に整え終了しました。2日目は取っ手と注ぎ口の位置を決め、縫い合わせるのが難しく、講師にコツを教えてもらいながら、参加者同士自分の作品を見せあうなど和気あいあいと制作に取り組み、柄や色の違う可愛い土びん型の和小物が完成しました。 *作品は玄翁館まつりに展示



「レザークラフト体験講座」～ボックスタイプの小銭入れづくり～

10月19日(日)10人が参加し、講師の菊池和夫さんご指導の下、ボックスタイプの小銭入れを制作しました。参加者は、完成した時の色合いを想像しながら革に色を塗っていました。

午後からは2本の針を使用し厚い革を縫う作業があり、難しい縫い方のため、前回参加した経験者が他の参加者にアドバイスをするなど、自然と参加者同士の交流も深まり楽しい講座となりました。

*作品は玄翁館まつりに展示



新里地区生涯スポーツ推進協議会事業

～スポーツで地域交流～

「新里地区スポーツ・レクリエーション祭」

10月5日(日)5地区から総勢185人(64チーム)が参加し、当センターのグラウンドでペタンク競技、体育館でシャフルボード競技を行いました。チームの戦略、個々の技や運を味方に大量得点で勝利するチーム、また、1点を競う接戦に一喜一憂しながら選手や観客からは歓声と声援が上がり笑顔もあふれています。今大会も、応援の幼児から高齢の選手まで幅広い年齢層が集い、秋晴れのもと『地域の交流』と『スポーツの秋』を満喫しました。

【ペタンク競技】

優 勝：永 田（刈屋地区）

準優勝：中組A（墓目地区）

第3位：和井内C



【シャフルボード競技】

優 勝：和井内A

準優勝：刈屋ひなた

第3位：永田（刈屋地区）



～寒さを吹き飛ばす熱き戦い～「ビーチボールバレーボール大会」

11月7日(金)、14日(金)の夜間、トレーニングセンターを会場に、延べ84人(5チーム)が参加し、4人制(男女混合)の競技を行いました。回転のかかったサーブで連続得点を重ねる選手や力強いアタックを決める選手、好プレー珍プレーもあり、熱戦・激戦を楽しみました。

優勝：今より早く!! / 準優勝：ゆるぐねえ～ / 第3位：ほりこ JAPAN



～的をめ掛け全集中！～「スポーツ吹き矢体験講習会」

12月7日(日)、当センターを会場に14人が参加し、5きげんテレビ木曜吹き矢チャレンジでおなじみの岩手県スポーツウエルネス吹矢協会の及川紀夫会長、同協会の村里洋子副会長ご指導の下、吹矢を体験しました。「吹矢の呼吸法、ゆっくりした動作や姿勢を保つことで筋肉や体幹が鍛えられ、吹く時に口も動かすので口腔ケアも期待できます。一緒に健康維持を目指しましょう。」とアドバイスがあり、筒を使った吹矢体操(準備体操)で体をほぐした後、基本的な動作と吹き方を学んだ参加者は、「集中と緩和を楽しむ心地よい時間でした。」「初めての吹矢とても楽しかったです。」と笑顔を見せていました。



第2回ネイチャー写真講座 「飛行機の見える丘」で大迫力の飛行機を撮影

11月8日(土)・9日(日)山根美智夫さんを講師に「第2回ネイチャー写真講座」を開催。2日間で延べ20人が参加し、1日目は座学を行い「レンズフィルターの活用」について学び、「合評」では参加者が持ち寄った写真の撮影場所や撮影した時の想いを話し、感想を述べました。

2日目の野外講座では、花巻空港のそばにある「飛行機の見える丘」で飛行機の離着陸を撮影。飛行機の着陸を待っている間には白鳥が飛んでくる等、思わず来客に急いでカメラを向ける参加者もあり動きのある物を撮影する難しさを感じました。参加者は「また天気の良い日に飛行機を撮影したいです。」「流し撮りに再挑戦したい。」と話していました。



乳幼児期家庭教育学級「めばえ」（第4回～第6回を紹介します）

おいしいチュロスができました♡「親子でクッキング・簡単チュロス作り」

9月11日(木) 親子4組10人が参加し、新里保健センター北館管理栄養士ご指導の下、「簡単チュロス作り」に挑戦。最初は緊張していた子どもたちでしたが、卵を混ぜ、粉をふるいにかけ、お母さんと一緒に調理をしているがたはとても楽しそうでした。参加した親子は出来上がったチュロスを「美味しいね。」と話し試食していました。



はなまるフレンズ・第5回めばえ共催事業



「親子でふれあい♪英語リトミック」

11月1日(土) 市民交流センター運動スタジオを会場に、親子12組31人が参加し「親子でふれあい♪英語リトミック」を行い、講師のあずまゆか先生のピアノ演奏と英語の歌に合わせ身体を動かし、親子でふれあう楽しい時間を過ごしました。参加者は「英語に触れることができました。また参加したいです。」と笑顔を見せっていました。



クリスマスランチ作り♪「親子でクッキング・めばえクリスマス会」

12月11日(木) 親子4組10人が参加し、講師に宮古市食生活改善推進員協議会新里地区員3人のご指導の下、クリスマスランチ作りを行いました。メニューは「ケーキ寿司」、「みやこの郷土料理ひつみ」、「簡単デザート」と盛りだくさん。親子でひつみの生地をちぎり、子ども達は粘土遊びのようにとても楽しそうに行っていました。「子どもと一緒にじっくり調理ができるとても良い機会でした。」「子どもと一緒に作れる料理でとても楽しかった。具材もたくさんで美味しく大満足です。」と一足早いクリスマス会を楽しみました。

「パソコン講座」～スマホ・デジカメ写真の活用を学ぶ！～

9月25日(木)8人が参加し、講師の吉田成樹さんから、スマホ・デジカメからの画像の取り込み方と写真の編集を学びました。様々な編集ができる事を知った参加者は、「画像に写っていた不要なものを消すことが出来て嬉しい。」と話し一生懸命取り組んでいました。



～はがきを作ろう！～

11月6日(木)4人が参加し、印刷ソフトを使った年賀はがきの作り方を学びました。文章の追加、画像のトリミング、位置やサイズの調整等を行い、気になるところは講師にアドバイスをいただきながら完成させた参加者からは、「有意義な講座でした。」と感想があり、手作りの年賀状を手に笑顔を見せていました。



～楽しく弾こう♪～「ウクレレ教室」

11月8日、15日、22日、29日(土)全4回に延べ24人が参加し、講師のウクレレサークル「ハピレレミやこ」のご指導の下、ウクレレの持ち方、弦の弾き方、コードを学びました。

童謡「ふるさと」を口ずさみながら演奏するまで上達した参加者は、「1曲弾けるようになり楽しかった。」「自宅でも練習します。」と笑顔を見せっていました。また、講師の皆さんが奏でるアンサンブル演奏と素敵な歌声に心癒される素敵な時間を過ごしました。

高齢者教育「いきいきセミナー」（第3回～第5回を紹介します）

～認知症予防に効果と期待～「シニア向けぬり絵体験」

9月20日(土)8人が参加し、講師の沼崎淳子さんご指導の下、シニア向けのぬり絵体験を行いました。始めは会話をしながら手を動かしていた参加者も、いつの間にかぬり絵に夢中になりました。「手を動かすこと」、「いつもと違うことをする」、「集中すること」は認知症予防や心身のリフレッシュにつながり、ストレスの解消にも役立つことを実感し、楽しい時間を過ごしました。

*作品は玄翁館まつりに展示



「ふるさとの散歩道」～鞭牛和尚の足跡をたどる②～(釜石市・大槌町・山田町編)



10月15日(水)12人が参加し、崎山貝塚縄文の森ミュージアム館長の假屋雄一郎さんを講師に、釜石市・大槌町・山田町の鞭牛碑群を巡りました。釜石市の鞭牛和尚隠居跡では、隠居の身となった鞭牛が1782年、ここで座禅往生（即身成仏）し73歳で亡くなったと知った参加者からは、「長生きしてよかった。」との声がありました。山田町の六角塔では、鞭牛和尚が道路開削に生涯をかける決意をした場所で、鞭牛の偉業を後世に伝えるために作ったものであると学び、鞭牛和尚が道路開削に人生を費やし、人々に希望をあたえ、地域発展の基礎を築いた偉大な人であると改めて知ることができました。



「人生100年時代」～あなたの心の大切なものを再確認しませんか～

12月10日(水)11人が参加し、宮古市社会福祉協議会新里センター職員の皆さんを講師に、「もしバナゲーム」（余命わずかな設定で、自分の価値観を考え、みんなで話し合うために作られたカードゲーム）を行いました。

「普段自分が考えているような結果になった、家族に自分の想いを伝える覚悟ができました。」「カードを選ぶたび、今後のことを真剣に考えました。」と感想があり、有意義な講座となりました。

～腹帯産のそば粉で打つ～「そば打ち体験講習会」

12月14日(日)11人が参加し、講師の新里グリーン・ツーリズムそば打ち研究会のそば打ちインストラクターから、十割そばの打ち方やコツを学びました。参加者からは「楽しく体験できました。試食のそばの味は格別で美味しい。」「そば打ちは奥が深いので自宅でも練習します。」と感想がありました。講師の中居会長は、「研究会の勉強会にも足を運んでいただき、ぜひインストラクターを目指してください。」と参加者にエールを送っていました。



少年教育「第2回ふるさとキッズ」～クリスマスリース・お正月リースを作ろう～

12月14日(日)親子50人が参加し、講師の陸中海岸青少年の家指導員ご指導の下、リース作り体験を行いました。子ども達からは、「たくさんのパーツの中から好きな物を組み合わせて作ることが出来て楽しかったです。」「お正月リースを完璧に作れて嬉しかったです。」と感想がありました。保護者からは、「子どもと大人も一緒に楽しめるイベントでした。」と大好評で、親子でリース作りを満喫していました。

